

会議等出席報告書

甲斐市地域公共交通会議 事務局(甲斐市経営戦略課)

会議等名	第8回甲斐市地域公共交通会議		
開催日	令和6年6月26日(水)15時から	場所	新館2階 防災対策室
出席者	甲斐市地域公共交通会議(瀬戸委員、池田委員(代理出席:岡)、篠原委員、菊島委員、中村委員、田中委員、進藤委員、鈴木委員、野田委員、北田委員、沼尾委員、箭本委員、田中委員、宇野委員、矢野委員(代理出席:浅川)、丸山委員 事務局:酒井事務局長(経営戦略課長)、村越(経営企画係長)、藤原、三井、小林 株式会社日建設計総合研究所:安藤主席研究員、今枝研究員		
<p>1. 開 会 (司会:酒井事務局長)</p> <ul style="list-style-type: none">委員名簿 No.5 橋本 様について、令和6年5月17日付けで甲斐市自治会連合会副会長に就任されたため、前任の穴水 様に代わり委員を委嘱する。甲斐市地域公共交通計画策定支援業務の受託事業者である株式会社日建設計総合研究所の安藤主席研究員と今枝研究員も Web で会議に参加している。 <p>2. 会長あいさつ(瀬戸会長)</p> <ul style="list-style-type: none">本日は、甲斐市地域公共交通計画策定や甲斐市 AI オンデマンド交通の実証運行、自動運転社会実装推進事業について協議、報告するためのものである。公共交通の未来を担う会議であるため、それぞれの知見に基づき忌憚のない意見を願う。 <p>3. 案 件 (議長:瀬戸会長)</p> <p>(1) 甲斐市地域公共交通計画の策定について(説明:村越係長)</p> <p>※資料1のとおり説明</p> <p>【質疑応答、意見】</p> <p>委 員:障がいをお持ちの方も調査対象に含まれているのか。 移動に制約のある方々への調査もぜひ行っていただきたい。</p> <p>事 務 局:甲斐市公式 LINE に友だち登録をしていれば対象になる。移動制約者については福祉部が所管しており、AI オンデマンド交通の実証時には移動が困難な方々のご意見を伺っているので引き続き福祉部と連携して取り組みたい。</p> <p>委 員:甲斐市民バスを障がいのある方がどれくらい利用しているか。福祉部でも高齢者福祉タクシー、バスの助成をしているが、AI オンデマンド交通への需要があるのか検証のポイントかと思う。</p> <p>委 員:障がい者支援課が事務局の自立支援協議会でAI オンデマンド交通の説明を聞かせていただいたが、同じように話を聞く機会を設けていただきたい。</p> <p>委 員:アンケートの配布数が2,000枚とのことだが、LINEの登録者はどれくらいか。また、回答数はどれくらい見込むか。</p>			

事務局：登録者数は本日時点では 17,091 名で、この内 15 歳以上の市民を対象にアンケート調査を行う。現在作成中の第 3 次甲斐市総合計画に係る LINE アンケート調査では登録者の約 10%から回答があった。

委員：2,000 枚配布して 10%程の回答数は調査として妥当か。

日建設計：LINE アンケートだけでなく郵送とのセットを考えている。郵送だと手元に紙が届くので、当社が関わった調査では 2 割から 3 割程度の回答率がある。今回の場合は配布数 2,000 通で考えているので 600 程度回答があると見込んでおり、妥当と考えている。

委員：本日は概要の説明で調査項目等の詳細は事務局で進めるということでよいか。

事務局：そのように考えている。

補記：会議終了後、日建設計総合研究所と再度協議した結果は次のとおり。

・市民アンケートの調査方法は次の 2 通りで行う。

①Web アンケート

対象者：甲斐市公式 LINE 友だち登録者約 1 万 7 千人

配布方法：LINE に Web アンケートホームのリンクを投稿

回答方法：マイクロソフトフォーム(Web アンケート)

②郵送アンケート

対象者：500 名(高齢者のみ対象)をランダムで抽出

配布方法：郵送

回答方法：郵送

(2) 甲斐市 AI オンデマンド交通実証運行について(説明：村越係長)

※資料 2 のとおり説明

【質疑応答、意見】

委員：エリアを跨いで移動する場合は乗継が必要とのことだが、将来的には市内全域を移動できるようにする等の考えはあるか。

事務局：AI オンデマンド交通はタクシーではなくバスと考えているため、エリアを跨いで移動する場合はモビリティハブでの乗継が必要と考えている。今回は有償での実証運行となるが、乗継がある場合は 400 円を 2 回払う 800 円ではなく、乗継料金として 600 円を設定している。例えば、玉川から敷島の北部まで乗継なく行けることは現時点では考えていない。

事務局：過去の実証運行のアンケート結果として、市外の総合病院への乗入れを希望する声が多くある。乗入れ先市町村の公共交通会議における協議等が必要になるが、利用者の利便性向上や県全体での公共交通の利用促進を図るため、市外への乗入れについて皆様にご意見いただきたい。

委員：タクシー協会の立場からすると、行き帰りともに市の AI オンデマンド交通を利用されると地域のタクシーに影響があるのでよく検討いただきたい。他の公共交通会議にも出席しているが、市外への乗入れは聞いたことがな

いので、十分に調整いただき、タクシーのことも考慮していただきたい。

委員：バス事業者として、市外の総合病院には一般のバス路線が乗入れしている。公共交通の空白地帯に運行することが事業の始まりかと思うが、乗り入れることで一般路線への影響が全くないということはないので、慎重な協議をお願いしたい。

事務局：利用者から市外にも停留所を設けて欲しいとの意見があったため、事務局として提案させていただいた。実施にあたっては調整が必要と認識したので検討させていただく。

委員：利用者は行きも帰りもオンデマンド交通を利用する傾向があるのか。1回乗車券は行き帰りで乗ると800円かかることになるが、往復乗車券をつくる必要があるのか。

事務局：現在の料金表だと一回乗車が400円となるので、行き帰りで800円となる。他市の事例では1カ月の定期券を設定しているところもあるが、甲斐市では初めての有償実証となるので、有償化によりどれくらい利用者が減るのか等の状況を見ながら、例えば2週間の有効期間を設ける等のフリーパスの設定を検討して利用促進を考えている。

委員：複雑な料金体系は避けるべきだが、交通会議での協議次第と考える。

事務局：キャッシュレス決済を導入することもあり先払いとする。例えば、エリアを跨ぐ移動の場合は400円を2回の800円とせず割引の600円とするが、料金について皆様にご意見伺いたい。

委員：市民のみが対象なのか。

事務局：市民以外の方も利用可能。

委員：市民のためのものと理解していたが、誰でも利用可能であれば、市外の方の料金は高くてもよいのでは。

事務局：甲斐市民バスについても市外の方も同じ200円である。また、今回は実証実験なので市外の方も同じ料金で考えている。

(3) 自動運転社会実装推進事業について(説明：村越係長)

※資料3のとおり説明

【質疑応答、意見】

委員：自動運転の交付金については減額される傾向があるがどうか。また、車両は甲斐市が購入して行うのか。

事務局：甲斐市民バス医大線のEVバスによる自動運転化の実装を見据え、車両を購入する経費を含め1.5億円で申請した結果、6月6日付けで上限1.0億円として採択された。

委員：EVバスが高額になると思うが、国産のEVバスはないので慎重に進めていただきたい。

事務局：事業主体は甲斐市となるが、単年で実装できるものではなく、2～3年かけた中で将来的に安全性等について市民の声を聴きながら進めて参りたい。

委員：この事業は今後地域公共交通会議に関係する事業か。

事務局：令和7年から11年までを計画期間とする甲斐市地域公共交通計画の中に、EVバスの自動運転化と明記するのは難しいが、実証実験を行いながら今後は自動運転技術を取り入れていく。

委員：全国でも実装している例は少ないようだが、将来につながるリーディングプロジェクトとして試乗や視察など事業自体に経済効果があり、アピールすることで市のイメージアップにもつながる。事務局としては、次年度以降も補助金を活用しながら実装を見据えて進めていくとのことなので皆様についてもご協力いただきたい。

委員：事業の周知方法は。

事務局：広報誌、公式LINE、報道機関等も活用しながら周知を行う。

委員：国土交通省の補助金を活用して実施するので、事業を開始する際は山梨運輸支局、関東地方整備局の関係者も出席をご案内し、PRすることも検討していただきたい。

4. その他（司会：酒井事務局長）

事務局：10月に次回会議の開催を予定している。日程等の詳細が決まり次第文書にて案内する。

5. 閉会（司会：酒井事務局長）

16時頃終了